

# 御園宇小学校区防災マップ

御園宇小学校区住民自治協議会  
【 自主防災委員会 防犯・防災部会 】

ここ10年間でも平成30年西日本豪雨災害や令和3年8月大雨、台風・長雨に伴う大災害が発生しています。災害から命を守るためには、まず「**自分の命は自分で守る**」という心構えが大切です。日頃から様々な事態を想定して備えておくことが必要です。  
このマップは、各種災害（洪水、土砂災害、地震）に対する備えや対応方法等の災害時の防災情報と、各種災害に関する危険な箇所等をまとめた内容で構成されています。  
もしもの時に備え、普段から目につきやすい場所に保管しておきましょう。

## 防災マップ（洪水・土砂災害）の使い方 家族会議の開始です。

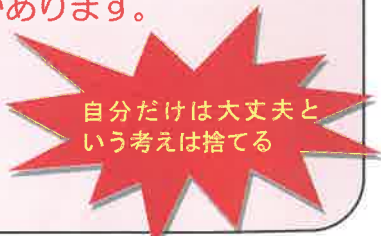
**知る** 自宅（居る場所）が危険な場所か確認する  
自分の家がどこにあるか確認して、●印をつけてみましょう。  
※ このマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を示した地図です。どのような危険が考えられますか。

付近の避難所を確認する  
御園宇ではまず最初に開設される避難所は **御園宇地域センター**です。  
※ 避難所までの経路を決めましょう。浸水場所や土砂災害のおそれがある範囲を避けて、複数の避難経路を設定することが大切です。

避難経路を歩いてみる  
**御園宇地域センターまでの避難経路が、安全に通行できるかを実際に歩いてみて確認しておきましょう。**  
※ 地域センターだけでなく近くの集会所や地震の時の広域避難場所である鏡山公園などへも家族と一緒に避難してみることが大切です。  
※ 回りの様子を見ながら歩いてみると、普段気づかないことを発見することが多くあります。

**考える** 災害別（洪水、土砂災害、地震）に発生時の避難について考える  
**避難とは、避難所に避難することだけではありません。**  
1. 自宅（居る場所）が危険な場所でない人  
◆自宅の中の安全な場所（2階など、できるだけ上の階や山側から遠い部屋など）に移動する（垂直避難）  
2. 自宅（居る場所）が危険な場所にある人（水平避難）  
◆安全な場所にある親戚・知人宅などに移動する  
◆市が開設する避難所に移動する  
※ 災害別に住んでいる場所の状況や、自分の体調などから、どのように避難するのか あらかじめ自身やご家族と一緒に考えておきましょう。

**確認する** 避難やそのタイミングを判断するための情報を確認する  
避難を判断するための情報として、市が発表する避難情報があります。  
避難情報は、気象情報をはじめとする様々な情報を総合的に判断し早めに発表しています。  
1. ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか  
2. 早めに、明るいうちに避難を済ませるようにしましょう



### 警戒レベル5段階表示 警戒レベルに応じて避難行動を判断しましょう。

#### 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	相当する警戒レベル
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命の危険な状況。いしる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報 氾濫発生情報	5相当
4	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害警戒情報 高潮特別警報 極めて危険 非常に危険	4相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、直前の行動を見合わせる必要があり、避難の準備もより、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難行動の発令を判断できる体制)	大雨警報 洪水警報 警戒(警報級) 氾濫警戒情報	3相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨注意報 洪水注意報 注意(注意報級) 氾濫注意情報	2相当
1	災害への心構えを高める ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認		大雨注意報 洪水注意報 早期注意情報(警報級の可能性)	

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。  
※2 「極めて危険」(暴風)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「警戒」は大雨特別警報が発令された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の範囲に活用することが考えられます。

## 備蓄品・非常用持出品(例) いざという時のために 実際に使ったり食べて味見したりしてみましょう。

<b>飲料水・生活用水</b> <input type="checkbox"/> 3日分の飲料水の備蓄 (1人×3リットル×3日) <input type="checkbox"/> 生活用水 <input type="checkbox"/> 水筒	<b>食料品等</b> <input type="checkbox"/> 3日分の食料の備蓄 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> 紙コップ・簡易皿 <input type="checkbox"/> 箸・スプーン <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> 缶切り・ナイフ <input type="checkbox"/> ラップ	<b>医薬品</b> <input type="checkbox"/> 救急用品(消毒液、ガーゼ、包帯、傷薬、絆創膏) <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> カット綿 <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> ピンセット <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
<b>停電への備え</b> <input type="checkbox"/> 予備の電池 <input type="checkbox"/> 懐中電灯(大型、中型)	<b>情報</b> <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 <input type="checkbox"/> ポータブルラジオ <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	<b>燃料の備え</b> <input type="checkbox"/> 卓上カセットコンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料
<b>衣類等・衛生用品</b> <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 歯磨き用品 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 除菌シート <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> トイレットペーパー	<b>その他</b> <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> ローソク <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 筆記具・マーカーペン <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 笛	<b>非常用持出品</b> <input type="checkbox"/> 非常用持出袋 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> カード、印鑑 <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 備蓄品のうち必要なもの

## AED(自動体外式除細動器) 倒れている人がいたら～AEDによる蘇生法

心臓が突然止まるのは、心臓がブルブルふるえる「心室細動」が原因となることが少なくありません。この場合は、できるだけ早く心臓にショックを与え、AEDで心臓のふるえを取り除くこと(除細動)がとても重要です。自宅から一番近いAEDのあるところはどこですか。

